

「社会医学研究」投稿規定

(総論)

1. 「社会医学研究」は、日本社会医学会（旧称：社会医学研究会）の機関誌であり、社会医学に関する論文その他を掲載する。
2. 本誌への投稿者（筆頭）は、学会員に限る。連名者も会員が望ましい。
3. 「社会医学研究」に掲載された文書の著作権は日本社会医学会に帰属する。掲載前に著作権移譲承諾書の提出が必要となる。
4. 投稿する内容が倫理的配慮を要するものである場合、本文中にて行った倫理的配慮について明記すること。倫理審査委員会等の審査を得て行った研究については、その審査番号（もしくはそれに相当するもの）を明記すること。

(投稿分野)

5. 「社会医学研究」は論文その他で構成するが、その区分は以下の通りとする。

表1 「社会医学研究」に掲載される原稿の種類

| 種類 | 内容 | 最大文字数(字) | 最大図表数(枚) |
|------|---|----------|----------|
| 原著論文 | 社会医学に関する科学的かつ独創性・新規性の高い研究・調査に関する論文 | 16800 | 4 |
| 総説 | これまでの研究・調査報告などのまとめ及び解説 | 16800 | 4 |
| 短報 | 社会医学に関する研究における成果、知見の速報 | 8400 | 2 |
| 実践報告 | 社会医学に関わる実践の報告 | 16800 | 2 |
| 特別報告 | 学術大会の講演要旨など（依頼原稿のみ） | 8400 | 2 |
| 会員の声 | 掲載論文・法律・制度に関する意見、社会医学に関する意見、関連学術集会の報告など | 2100 | 0 |
| 巻頭言 | 社会医学の発展につながる意見、提案、提言（依頼原稿のみ） | 4200 | 1 |

（最大図表数は原則の枚数となります）

6. 「社会医学研究」編集委員会が認めた場合は、上記投稿規定にない区分の原稿についても掲載できる。

(投稿要領)

7. 投稿区分に応じて以下のファイルの投稿を必要とする。

表2 原稿の種類ごとの投稿時必要ファイル

| 種類 | 投稿時に必要なファイル |
|------|--------------------------------|
| 原著論文 | 原稿本文、表、図、社会医学研究の倫理面に関するチェックリスト |
| 総説 | 原稿本文、表、図、社会医学研究の倫理面に関するチェックリスト |
| 短報 | 原稿本文、表、図、社会医学研究の倫理面に関するチェックリスト |
| 実践報告 | 原稿本文、表、図、社会医学研究の倫理面に関するチェックリスト |
| 特別報告 | 原稿本文、表、図、社会医学研究の倫理面に関するチェックリスト |
| 会員の声 | 原稿本文 |
| 巻頭言 | 原稿本文、表、図 |

(最大図表数は図表の大きさにより減らすことがある)

*原稿本文はMS Wordもしくは一太郎ファイルとする

*表はMS Excelファイルとする

*図はMS Powerpoint、PDF、画像ファイルとする

8. 原稿は和文で作成する。キーワードは英、和それぞれ1～5語とする。

9. 原稿はA4用紙に横25～40字の範囲で、横書きで記載する。行間はダブルスペースとする。フォントは明朝体を基本とし、大きさは12ポイントとする。

10. 原稿には表紙を付ける。表紙には以下の内容を記す。

表題、著者名、所属機関名、論文種別、文字数、表の数、図の数、投稿論文責任著者の氏名・所属機関・所属機関の住所・メールアドレスを記載する。

また、表題、著者名、所属機関名については、英文表記を付記する。

11. 抄録は原著論文、総説、短報、実践報告において作成する。抄録は600字以内の和文とし、表紙の次のページに記す。抄録は『背景・目的』『方法』『結果』『考察』の4つの要素で構成することが望ましい。

12. 原著論文については、英文の抄録も作成する。語数は400wordとし、和文抄録の次のページに記す。英文抄録は『Background/Objective』『Method』『Result』『Discussion』の4つの要素で構成することが望ましい。

13. 原著論文、短報、総説、実践報告の原稿の構成は以下の通りとする。

表3 投稿原稿の構成例（原著論文、短報）

| 項目 | 含まれる小見出しの例 | 内容 |
|--------|--|----------------------|
| 和文抄録 | 要旨 『背景・目的』『方法』『結果』『考察』 | 論文の概要 |
| (英文抄録) | Abstract 『Background/Objective』『Method』『Result』『Discussion』 | 同上 |
| 緒言 | 緒言、背景 | 研究を行うに至った背景、研究の目的 |
| 方法 | 対象者、調査方法、集計・統計解析、倫理的配慮 | 研究で行った調査の詳細 |
| 結果 | 結果 | 研究で明らかとなった結果 |
| 考察 | 考察、結論 | 結果の評価、研究の長所・短所、研究の総括 |

*英文抄録は原著論文のみ

表4 投稿原稿の構成例（総説）

| 項目 | 含まれる小見出しの例 | 内容 |
|------|------------------------------|-------------------------|
| 和文抄録 | 要旨、まとめ | 総説の概要 |
| 緒言 | 緒言、背景 | 総説の目的 |
| 方法 | 文献調査方法、集計・統計解析、倫理的配慮 | 総説を作成した方法のまとめ |
| 結果 | (総説のテーマ、まとめ方に応じた小見出しを付けて下さい) | これまでの研究結果のまとめ |
| 考察 | 考察、結論 | 総説で明らかとなったことのまとめと今後への期待 |

表5 投稿原稿の構成例（実践報告）

| 項目 | 含まれる小見出しの例 | 内容 |
|------|------------------------------------|---------------------------|
| 和文抄録 | 要旨 『背景・目的』『方法』『活動内容』『考察』 | 活動の概要 |
| 緒言 | 緒言、背景、はじめに | なぜ実践を行ったのかの理由、実践を行うに至った背景 |
| 方法 | 活動の対象者、活動を実際に行った者・組織の概要、活動内容、倫理的配慮 | 活動の概要と検討の方法 |
| 活動結果 | 活動結果 | 活動に参加した者の数、活動で得られた結果 |
| 考察 | 考察、結論 | 活動したことで得られた知見、示唆の考察 |

14. 特別報告、会員の声、巻頭言は様式は特に定めないこととする。

15. 参考文献は以下の引用例に従い、引用順に番号を付け、論文末尾に一括して番号順に記載する。

■雑誌からの引用

著者名、表題、雑誌名、年号:巻数:頁-頁、の順に記載する。著者が3名を越える場合は3名までを記載し、残りの著者は「他」とする。

- 1) 田中勤、古橋忠晃、上田浩詞他、深夜の街における10代の若者たちの夢と希望についての社会医学的考察 傾聴・共感・見守りの思春期公衆衛生活動から (Case series). 社会医学研究. 2019;36:61-70.
- 2) Roberto CA, Lawman HG, LeVasseur MT, et al. Association of a Beverage Tax on Sugar-Sweetened and Artificially Sweetened Beverages With Changes in Beverage Prices and Sales at Chain Retailers in a Large Urban Setting. JAMA 2019;321:1799-1810.

■単行本からの引用

編者・著者名、書籍名、所在地、発行所、発行年、頁の順に記載する。

- 1) 日本疫学会監. 磯博康、祖父江友孝編. はじめて学ぶやさしい疫学 (改訂第3版). 東京:南江堂. 2018:13-25.
- 2) Murray CL. The Global Burden of Disease. Cambridge, Harvard University Press, 1966:201-246.

■インターネットからの引用

文献、書籍では得られず、インターネットからのみ得られる情報については、情報を提供している者とWebアドレス、アクセスした日を明示すること。

1) 厚生労働省. 風しんの追加的対策 骨子.

<https://www.mhlw.go.jp/content/000474416.pdf> (2019年5月19日アクセス)

2) WHO. Fact sheets (15 March 2018), Deafness and hearing loss.

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/deafness-and-hearing-loss> (Accessed 26 Jan 2019).

(投稿の手続き)

16. 論文は電子ファイルとして編集委員会のメールアドレスに投稿する。投稿するファイルは7の表2で示した様式とする。

編集委員会メールアドレス：e.c-jssm@dokkyomed.ac.jp

(上記に、必要なファイルを添付し、件名に「社会医学研究投稿原稿」と記すこと)

17. 投稿時に添付する「社会医学研究の倫理面に関するチェックリスト」は次ページを使用するか、日本社会医学会のWebページからPDFファイルをダウンロードして使用すること。その後、スキャンするなどして電子ファイルとして提出すること。
18. 投稿に際して、諸事情によりメールでの原稿提出が困難な場合には、A4用紙に印刷した原稿等3セット及び必要なファイルを保管した電子媒体を郵送ないし宅配便にて日本社会医学会事務局まで送付することでも投稿できることとする。ただし、その際は外装に「社会医学研究投稿原稿 在中」と明記すること。
19. 原著論文、総説、短報、実践報告の投稿区分で投稿された論文に対しては査読を行う。査読者数は、原則として原著論文は2名、他は1名とする。これら以外の投稿区分で投稿された内容については必要に応じて査読を行い、編集委員会が掲載の可否について最終判断を行う。